

ミッドランド スクエア 豊田・毎日ビルディング

設計：日建設計

BE



南面全景*

基準階トイレ



女子トイレ ●INAX使用商品●自動水柱：AM-91K、洗面器：L-2295



男子トイレ ●INAX使用商品●小便器：AWU-506RAMP



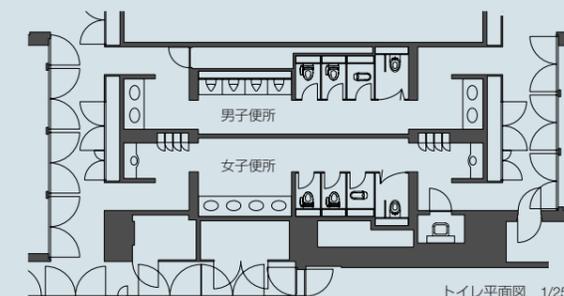
男子トイレ ●INAX使用商品●洋風大便器：C-22 PURC、シャワートイレ：CW-P12M-NEC



女子トイレ ●INAX使用商品●洋風大便器：C-22 PURC、シャワートイレ：CW-P12F-NEC



女子トイレ ●INAX使用商品●和風大便器：C-852Mトク



トイレ平面図 1/250

Best Equipment

都市・オフィスの中の
リラクゼーション空間

竹内 跡

ATO TAKEUCHI

「ミッドランドスクエア」は、名古屋駅のほぼ正面に位置し、昭和30年代に建てられ、長年親しまれてきた「豊田ビル」と「毎日ビル」の建替計画である。地上部は中部地区一の高さ247mの賃貸オフィスを中心としたオフィスタワーと、約60の物販・飲食店舗、7スクリーン・1,270席のシネマコンプレックスを配する、高さ50mの商業施設で構成される。地下部には駐車場と地域冷暖房施設を設けている。超高層ビルと商業施設による大型複合施設というプログラムにおいて、落ち着いたパブリックスペースをいかに作り込めるかをテーマとしながら進めた。

□開かれたオフィスタワーを目指して

オフィスタワーは名古屋の都市軸に合わせ、かつ駅前ロータリーに広がりを持たせる配置とし、53×53mの正方形の平面形状に外観を特徴付けるシャトルエレベーターシャフトを付加した形状としている。このエレベーターは、世界初のシースルーシャトルダブルデッキとし、超高層ビルでの平面効率の追求、輸送能力の向上とともに、垂直方向の視覚的な動きで都市空間のダイナミズムを与え、「元気な街」と称される名古屋駅前のアイデンティティの創出を目的としている。

オフィスタワー低層部にはコンファレンス施設を、頂部にはスカイレストラン

と名付けた飲食店舗を設けるとともに、最頂部にはスカイプロムナードと名付けた屋外型展望施設を設け、最上部より緩やかなスロープで下りながら、周辺の素晴らしい景観を楽しむことができる。また夜にはLEDによる幻想的なライトアップ、人工的に霧をつくり出す水噴霧装置などにより、空に浮かぶ都市空間をドラマチックに演出している。

□都市のリビング

前面道路である駅前通りに沿っては、リニアなサンクンガーデンを設け、その空間を介し、名古屋駅につながる既存の地下街ネットワークと連絡する構成としている。地上に対する開口をリズムカルに設け、歩行者の利便性、防災安全性の確保と、行き交う人々の賑わいをつくり出している。商業施設はサンクンガーデンとつながる地下1階を底辺とする5層吹抜けのアトリウムを中央に設け、アトリウムを取り囲むように店舗を配置し、水平方向への人の動きを誘発する回遊型施設とした。また、アトリウム内に垂直方向の動きが生まれるエスカレーター、エレベーターを軸をずらしながら配置し、アトリウム全体が賑わいやヒューマンスケールを感じさせる空間としている。これらの構成により、立体的に回遊しながら街区を通り抜けられ、かつ佇むことのできる“都市のリビングルーム”とでもいべき落ち着いた空間としている。

□リフレッシュスペースとしてのトイレ

基準階オフィスは中央部にコアを持つコの字型配置とし、南と北に廊下が並行していることから、トイレ入口は男子、女子ともに各2カ所ずつ設け、南北廊下のどちらからもアクセスが可能なものとしている。

トイレブースは、男子・女子トイレ内にそれぞれ1カ所車いす用ブースを設け、車いす利用のオフィスワーカーが、どの

フロアにおいても働きやすい環境を目指した。女子トイレにはパウダーコーナーを設け、歯磨き用水栓、小物入れの設置を行っている。内装仕上げは、白を基調としたオフィスや、明るい木目を基調としたEVホール・廊下とはあえて雰囲気を変化させ、濃い木目を基調とし、リフレッシュスペースの一部として落ち着きと“品格”のある空間としている。

□水まわりのディテール

建物外観からインテリアの細部のディテールまで、“プロポーション”、“ムダを徹底して省いたシンプルさ”と、それを併せ持つ“品格”を基本コンセプトとし、流行に左右されず、長年にわたって親しみを持ってもらえる建物づくりを目指して計画を進めた。トイレ空間においてもそのコンセプトを踏襲している。

洋便器ライニング前板からフェイスプレートをなくした洗浄スイッチ、内装の一部となるように壁面に埋め込まれたごみ箱一体型のハンドドライヤー、取っ手を極力目立たせず壁面同材仕上げとした女子用小物入れなど、トイレ内の一つひとつの機能をモックアップで検証を行いながら、“使いやすさ”と“ありそうで今までにないシンプルさ”の両立するディテールを追求した。*

たけうち・あーとー日建設 設計部門設計室 / 1971年生まれ。1994年、神戸芸術工科大学芸術工学部環境デザイン学科卒業。日建設入社、現在に至る。
主な作品：三井住友銀行名古屋ビル（2001）、センチュリー豊田ビル（2002）など。

■建築概要

名称：ミッドランドスクエア 豊田・毎日ビルディング
所在地：愛知県名古屋市中村区名駅4-7-1
設計：日建設
施工：竹中・大林・鹿島・清水共同企業体
敷地面積：11,643.15㎡
建築面積：8,090.78㎡
延べ面積：193,450.74㎡
規模：地下6階、地上47階、塔屋2階
構造：S造、SRC造、RC造
工期：2004.1～2006.9



サンクンガーデン*（※印写真：新写真工房 堀内広治）

